

近畿厚生局長 殿

開設者名
公立大学法人和歌山県立医科大学 印

和歌山県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数		114人
--------	--	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	355人	49人	361.3人	看護補助者	8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	4人	10.5人	理学療法士	13人	臨床検査技師	37人
薬剤師	30人	0人	30.0人	作業療法士	4人	臨床検査衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	38人	0人	38.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	686人	17人	698.4人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	9人	3人	11.6人	栄養士	2人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	0人	3人	3.0人	歯科技工士	1人	事務職員	69人
管理栄養士	3人	0人	3.0人	診療放射線技師	33人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	637.6人	8.6人	646.2人
1日当たり平均外来患者数	907.6人	55.0人	962.6人
1日当たり平均調剤数	943.0剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
該当なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
該当なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	30人	・膿疱性乾癬	81人
・多発性硬化症	52人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	58人
・全身性エリテマトーデス	178人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	18人
・再生不良性貧血	24人	・混合性結合組織病	20人
・サルコイドーシス	74人	・原発性免疫不全症候群	0人
・筋萎縮性側索硬化症	41人	・特発性間質性肺炎	16人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	153人	・網膜色素変性症	19人
・特発性血小板減少性紫斑病	63人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	16人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	120人	・神経線維腫症	51人
・大動脈炎症候群	21人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	15人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	30人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	63人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	649人	・球脊髄性筋委縮症	6人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25人
・後縦靭帯骨化症	196人	・肥大型心筋症	52人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	15人	・ミトコンドリア病	15人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	10人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	27人	・黄色靭帯骨化症	54人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	93人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月1回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 14 例 / 剖検率 2.80%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

単位：千円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児ネフローゼ症候群における適応外使用免疫抑制薬の有効性・安全性の検証と治療法の確立を目指した多施設共同臨床研究	吉川 徳茂	小児科	75,400	補委 厚生労働省
膵癌に対する術後再発予防のための2方向性新規ペプチドワクチン療法の開発	山上 裕機	消化器・内分泌・小児外科	175,000	補委 厚生労働省
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	山中 昇	耳鼻咽喉科	9,569	補委 厚生労働省
組織培養法を応用した肺癌多臓器転移モデルによる転移先臓器特異性決定遺伝子群の同定	吉増 達也	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科	1,690	補委 日本学術振興会
膵癌に対する2方向性ペプチドワクチン療法を応用した新規治療戦略	山上 裕機	消化器・内分泌・小児外科	4,550	補委 日本学術振興会
IgA腎症進行にインフラマソームが果たす役割の解析とその応用による新治療法の開発	吉川 徳茂	小児科	7,670	補委 日本学術振興会
次世代光干渉断層法によるスペクトロスコピー開発と不安定プラーク治療効果判定	赤阪 隆史	循環器内科	1,300	補委 日本学術振興会
グレリンによるインスリン分泌抑制機序の解明	西 理宏	糖尿病・内分泌代謝内科	1,170	補委 日本学術振興会
喫煙喘息におけるステロイド抵抗性の病態解明	松永 和人	呼吸器・アレルギー内科	1,430	補委 日本学術振興会
川崎病の病因解明に対する新たなアプローチ	鈴木 啓之	小児科	910	補委 日本学術振興会
新生児末梢循環モニターの開発と臨床評価	奥谷 貴弘	小児科	650	補委 日本学術振興会
アットリスク精神状態の介入指標の確立と病態解明を目指す縦断的TMS-NIRS研究	辻 富基美	神経精神科	650	補委 日本学術振興会
抗癌剤・放射線感受性遺伝子解析を応用した直腸癌に対する新規術前化学放射線療法	堀田 司	消化器・内分泌・小児外科	650	補委 日本学術振興会
腫瘍局所におけるIL-17産生制御による新しい分子標的治療の開発	岩橋 誠	消化器・内分泌・小児外科	650	補委 日本学術振興会
MPF発現からみた膵腫瘍の新規悪性度診断	谷 眞至	消化器・内分泌・小児外科	650	補委 日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明：車両搭載型MRIを用いた地域住民コホート研究	山田 宏	整形外科	1,820	補委 日本学術振興会
メタボリックシンドロームからみた尿路結石症の新たな予防法確立に向けた臨床研究	柑本 康夫	泌尿器科	1,040	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における抗癌剤感受性関連マイクロRNAの検討とオーダメイド治療システム	横山 道明	耳鼻咽喉科	910	補委 日本学術振興会

小計
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
EBウイルス関連リンパ腫発症・進展に与える宿主自然免疫の影響	山内 一真	耳鼻咽喉科	1,300	補委 日本学術振興会
インテグリンによるSma d系の調節を標的とした眼線維化疾患の新規治療戦略の確立	雑賀 司珠也	眼科	1,170	補委 日本学術振興会
エピジェネティクスを利用した新規胃癌リスクマーカーの開発	前北 隆雄	消化器内科	1,430	補委 日本学術振興会
温浴におけるサイトカイン発現に関する研究	田島 文博	リハビリテーション科	1,300	補委 日本学術振興会
冠動脈プラーク破裂後の血栓形成における単球サブセットの関与と治療法の確立	今西 敏雄	循環器内科	1,560	補委 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患におけるオキシステロールの役割の解明	杉浦 久敏	呼吸器・アレルギー内科	1,820	補委 日本学術振興会
腎機能障害に伴うリン過剰にตอบสนองするリン感受性機構とリンセンサーの探索	重松 隆	腎臓内科	1,430	補委 日本学術振興会
パーキンソン病および関連疾患における姿勢異常の病態の解明と治療法の開発	村田 顕也	神経内科	1,430	補委 日本学術振興会
エキソーム解析によるMODYの原因遺伝子解明	古田 浩人	糖尿病・内分泌代謝内科	1,560	補委 日本学術振興会
溶血性尿毒症症候群に合併する急性脳症の発症を防止する分子免疫的治療法の開発	南 弘一	小児科	1,300	補委 日本学術振興会
ユビキチン・プロテアソームに着目した多発性嚢胞腎病態生理に基づく疾患特異的治療	中西 浩一	小児科	1,430	補委 日本学術振興会
川崎病発症児におけるHLAクラスII多型(DP, DQ, DR)の亜群存在の解明	末永 智浩	小児科	1,430	補委 日本学術振興会
難治性慢性炎症疾患における自己炎症シグナル活性化の探索のための基盤創成	金澤 伸雄	皮膚科	1,690	補委 日本学術振興会
抗癌剤を組み込んだ溶解型ゼラチンマイクロスクエアの抗癌剤徐放性の基礎的研究	佐藤 守男	放射線科	2,210	補委 日本学術振興会
iPS細胞由来樹状細胞/癌幹細胞融合ワクチンを用いた新規的癌免疫療法の開発	中村 公紀	消化器・内分泌・小児外科	1,300	補委 日本学術振興会
大腸癌浸潤先進部CEACAM1発現細胞を標的とした新規癌治療の開発	横山 省三	消化器・内分泌・小児外科	1,300	補委 日本学術振興会
肝硬変肝機能障害およびその術後経過が好中球の機能および膜脂肪酸構成に及ぼす影響	瀧藤 克也	消化器・内分泌・小児外科	780	補委 日本学術振興会
胃癌選択的殺細胞効果を強化した新しいウイルス療法の開発	中森 幹人	消化器・内分泌・小児外科	1,690	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ドレーン排液中サイトカイン網羅的解析による膀胱切除後重症膀胱瘻早期診断モデルの確立	川井 学	消化器・内分泌・小児外科	1,430	補委 日本学術振興会
脊髄損傷後の難治性疼痛におけるROSの関与について	吉田 宗人	整形外科	1,430	補委 日本学術振興会
腰椎椎間孔外側病変ならびにダブルクラッシュ病変における疼痛メカニズムの解明	橋爪 洋	整形外科	1,560	補委 日本学術振興会
胃切除後骨障害の病態解明と治療 胃—肝臓—骨連関からのアプローチ	上田 和樹	消化器内科	1,040	補委 日本学術振興会
尿路上皮癌に対する免疫抑制物質IDOを用いた新規免疫療法の開発	原 勲	泌尿器科	1,040	補委 日本学術振興会
卵巣癌腹膜播種における免疫寛容誘導機序の解明と新規標的免疫療法の開発	井篁 一彦	産科・婦人科	780	補委 日本学術振興会
IFN γ ・STAT1・PAI-1シグナル抑制による緊急手術後腸管癒着予防法の開発	上田 健太郎	救急集中治療部	910	補委 日本学術振興会
エリスロポエチンによる心筋梗塞再灌流後の冠循環改善効果についての研究	平田 久美子	循環器内科	2,600	補委 日本学術振興会
冠動脈プラーク内マクロファージ数がプラーク破裂に及ぼす影響についての検討	田中 篤	循環器内科	2,990	補委 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における自然免疫の役割の解明	小荒井 晃	呼吸器・アレルギー内科	1,690	補委 日本学術振興会
COPD患者の予後改善に向けた新しい個別化治療ストラテジーの構築	南方 良章	呼吸器・アレルギー内科	1,820	補委 日本学術振興会
好酸球性肺炎における窒素化ストレス及び新たな炎症性メディエーターの解明	赤松 啓一郎	呼吸器・アレルギー内科	1,560	補委 日本学術振興会
線維芽細胞増殖因子23の脾臓における発現の生物学的意義についての解析	美馬 亨	腎臓内科	2,340	補委 日本学術振興会
難治性川崎病に対するNFAT経路遮断薬による新たな治療法開発の試み	武内 崇	小児科	2,340	補委 日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害に対するrTMSの治療機作のGABA機能評価による検討	鵜飼 聡	神経精神科	2,730	補委 日本学術振興会
癌幹細胞の細胞周期機構を標的とした新規癌ワクチン療法の開発	松田 健司	消化器・内分泌・小児外科	2,080	補委 日本学術振興会
包括的SNPアレイ解析と遺伝子発現プロファイルの統合から導いた新規膀胱癌治療戦略	廣野 誠子	消化器・内分泌・小児外科	3,120	補委 日本学術振興会
尿路上皮癌患者に対する多剤併用化学療法の効果予測を目的としたバイオマーカーの確立	松村 永秀	泌尿器科	2,730	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性中耳炎難治化に対する肺炎球菌フェーズ変化の抑制による治療戦略に関する研究	戸川 彰久	耳鼻咽喉科	1,690	補委 日本学術振興会
母体経鼻免疫における仔マウスにおける免疫学的メモリーの研究	保富 宗城	耳鼻咽喉科	1,560	補委 日本学術振興会
鼻咽腔細菌叢評価に及ぼす抗菌薬の影響の網羅的遺伝子解析と、抗菌薬適正使用の検討	小上 真史	耳鼻咽喉科	1,690	補委 日本学術振興会
肺炎球菌ワクチン導入前後の肺炎球菌急性中耳炎分離株の血清型の変化に関する研究	山中 昇	耳鼻咽喉科	2,730	補委 日本学術振興会
頭頸部癌・癌幹細胞における特異的マイクロRNAの解析と分子標的治療への応用	ベデル ヴェント	耳鼻咽喉科	2,210	補委 日本学術振興会
TRPチャネルを介した眼組織血管新生に対する新しい治療戦略の確立	岡田 由香	眼科	2,470	補委 日本学術振興会
顎関節内障におけるテネシンCの働き	東條 格	歯科口腔外科	1,950	補委 日本学術振興会
顎関節内障における性ホルモンの影響	藤田 茂之	歯科口腔外科	1,950	補委 日本学術振興会
野生株ポリオとワクチンポリオの相違についての比較検討	青木 集哲	リハビリテーション科	910	補委 日本学術振興会
放射線治療時の危険臓器移動法の開発	岸 和史	放射線科	650	補委 日本学術振興会
消化器癌に対するオートファジー細胞死を誘導する分子標的機能搭載ウイルス療法の開発	山上 裕機	消化器・内分泌・小児外科	1,690	補委 日本学術振興会
発達期の脳と麻酔薬：脳の臨界期を介する神経毒性機序に関する新規統合的アプローチ	西川 光一	麻酔科	1,430	補委 日本学術振興会
ショック肝における肝組織中フリーラジカルに関する研究	山添 真志	救急集中治療部	260	補委 日本学術振興会
顎関節関節円板におけるホメオスタシス維持解明への挑戦	松本 隆司	歯科口腔外科	1,170	補委 日本学術振興会
難治性喘息におけるMMPの役割の解明	市川 朋宏	呼吸器・アレルギー内科	1,040	補委 日本学術振興会
徐放化basic-FGF製剤の胸腔内投与による肺気腫の再生医療	中村 理恵	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科	650	補委 日本学術振興会
$\alpha 9$ インテグリンリガンドを標的とした脈絡膜・網膜・角膜新生血管の新しい治療法	藤田 識人	眼科	780	補委 日本学術振興会
Hedgehogシグナルを標的とした口腔癌の新規治療法の開発	田中 章夫	歯科口腔外科	1,430	補委 日本学術振興会
がん幹細胞と血管内皮前駆細胞に照準を定めた悪性脳腫瘍に対する分子標的治療法の探索	深井 順也	脳神経外科	1,040	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Regulatory T細胞制御を基盤とした癌ワクチン療法の新展開	宮澤 基樹	消化器・内分泌・小児外科	780	補委 日本学術振興会
特発性造血障害におけるNKGD免疫の臨床的意義の確立	花岡 伸佳	血液内科	1,560	補委 日本学術振興会
上皮間葉移行(EMT)に着目した多発性嚢胞腎の病態特異的治療の開発	戸川 寛子	小児科	1,170	補委 日本学術振興会
膠原病の難治性皮疹に対するヒドロキシクロロキンの作用機序の解明	池田 高治	皮膚科	1,560	補委 日本学術振興会
嗅覚・アセチルコリン系障害仮説で探るDUP(精神病未治療期間)	正山 勝	神経精神科	650	補委 日本学術振興会
溶解型ゼラチンスポンジの抗癌剤キャリアとしての有用性の検討	生駒 顕	放射線科	520	補委 日本学術振興会
CEA遺伝子導入ES細胞由来樹状細胞を用いた癌ワクチン療法	尾島 敏康	消化器・内分泌・小児外科	650	補委 日本学術振興会
アンギオテンシンII受容体拮抗薬による腹腔内癒着予防に関する研究	吉村 聖子	麻酔科	1,170	補委 日本学術振興会
低酸素に暴露された肺上皮細胞に対するニコランジルの影響	羽場 政法	麻酔科	1,300	補委 日本学術振興会
肺炎球菌とインフルエンザ菌の混合感染時のフェース変化と急性中耳炎難治化の研究	上野 ゆみ	耳鼻咽喉科	1,430	補委 日本学術振興会
扁桃病巣疾患におけるTh17/制御性T細胞サブセットの役割に関する研究	林 正樹	耳鼻咽喉科	1,430	補委 日本学術振興会
TSAおよびAc-SDKPの眼科線維化疾患の治療効果の実験的検討	泉谷 愛	眼科	1,170	補委 日本学術振興会
壊死性腸炎発症におけるmaternal microchimerismの影響	渡邊 高士	消化器・内分泌・小児外科	1,170	補委 日本学術振興会
視床障害者における皮膚交感神経活動測定と局所温熱療法的作用機序の解明	神埜 奈美	リハビリテーション科	650	補委 日本学術振興会
甲状腺未分化癌におけるPodocalyxinの役割とその治療応用に関する解析	安岡 弘直	臨床検査医学	1,690	補委 日本学術振興会
メサングウムIgA受容体に着目した小児IgA腎症発症メカニズムの解明	島 友子	小児科	1,560	補委 日本学術振興会
遺伝性プロテアソーム不全症である中條-西村症候群の病態解明と酵素補充療法の試み	国本 佳代	皮膚科	2,080	補委 日本学術振興会
GABA機能に着目した統合失調症の認知機能障害の病態解明と神経生理学的指標の確立	高橋 隼	神経精神科	910	補委 日本学術振興会
食道癌に対する新規アジュバントHVJ-E併用癌ワクチン療法の開発	勝田 将裕	消化器・内分泌・小児外科	910	補委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Thyroid	Diagnostic criteria, clinical features, and incidence of thyroid storm based on nationwide surveys.	Akamizu T. 他	糖尿病・内分泌代謝内科
Eur J Intern Med	The physiological significance and potential clinical applications of ghrelin.	Akamizu T. 他	糖尿病・内分泌代謝内科
Eur J Endocrinol	Analysis of plasma ghrelin in patients with medium-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency and glutaric aciduria type II.	Akamizu T. 他	糖尿病・内分泌代謝内科
J Biol Chem	Regulation of AMP-activated protein kinase signaling by AFF4 protein, member of AF4 (ALL1-fused gene from chromosome 4) family of transcription factors, in hypothalamic neurons.	Furuta H. 他	糖尿病・内分泌代謝内科
Clin Exp Allergy 42(5): 775-781	Associated demographics of persistent exhaled nitric oxide elevation in treated asthmatics	Matsunaga K, 他	呼吸器・アレルギー内科
Respirology 17: 1018-1025	Cigarette smoke augments the expression and responses of toll-like receptor 3 in human macrophages	Ichikawa T, 他	呼吸器・アレルギー内科
Respir Res 13: 63	25-hydroxycholesterol enhances cytokine release and toll-like receptor 3 response in airway epithelial cells	Ichikawa T, 他	呼吸器・アレルギー内科
JACC Cardiovasc Img, 5(2) : 232-233, 2012	OCT-Verified Neointimal Hyperplasia Is Increased at Fracture Site in Drug-Eluting Stents.	Kitabata H, 他	循環器内科
Am Heart J 163(4) : 608-616, 2012	Effect of strut thickness on neointimal atherosclerotic change over an extended follow-up period (≥4years) after bare-metal stent implantation: Intracoronary optical coherence tomography examination.	Kitabata H, 他	循環器内科
Circ J 76(9) : 2218-2225, 2012	Optical coherence tomography-derived anatomical criteria for functionally significant coronary stenosis assessed by fractional flow reserve.	Shiono Y, 他T	循環器内科
Circ J 76(9) : 2076-2083, 2012	Application of optical coherence tomography in percutaneous coronary intervention.	Kubo T, 他	循環器内科
Circ J 76(10) : 2412-2418, 2012	Circulating CD14+CD16+ monocyte subsets as biomarkers of the severity of coronary artery disease in patients with stable angina pectoris.	Ozaki Y, 他	循環器内科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Internal Med 51(8) : 977-978, 2012	Stent Restenosis with Anomalous Origin of the Coronary Artery.	Kitabata H, 他	循環器内科
Current Medicinal Chemistry 19(16) : 2588-2596, 2012	Biomarkers Associated with Vulnerable Atheromatous Plaque.	Imanishi T, 他	循環器内科
Circ J 76(11) : 2690- 2696, 2012	Impact of stress hyperglycemia on myocardial salvage following successfully recanalized primary acute myocardial infarction.	Teraguchi I, 他	循環器内科
Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2013 Jan;14(1) :43-50	Circulating malondialdehyde-modified low-density lipoprotein levels are associated with the presence of thin-cap fibroatheromas determined by optical coherence tomography in coronary artery disease.	Kubo T, 他	循環器内科
Cardiovasc Interv Ther. 2013 Jan;28(1) :81-6.	Occlusion of left main coronary artery during percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion of left circumflex artery with retrograde approach.	Ino Y, 他	循環器内科
Coron Artery Dis. 2013 Mar;24(2) :95-101	Difference in neointimal appearance between early and late restenosis after sirolimus- eluting stent implantation assessed by optical coherence tomography.	Ino Y, 他	循環器内科
Int Heart J. 2013;54(1) :7-10.	Clinical significance of low signal intensity area surrounding stent struts identified by optical coherence tomography.	Ishibashi K, 他	循環器内科
日本生物学的精神医学会 誌23:143-147, 2012	精神疾患の病態の検討へのTMSの応用	鵜飼聡	神経精神科
精神神経学雑誌 114:1018-1022, 2012	反復経頭蓋磁気刺激によるラット海馬 における神経細胞新生の増加	上山栄子 他	神経精神科
Neurocase 2013;19(3) :262-7	Cerebral blood flow in the subgenual anterior cingulate cortex and modulation of the mood-regulatory networks in a successful rTMS treatment for major depressive disorder.	Shun Takahashi . 他	神経精神科
和歌山医学	内視鏡を用いた低侵襲脳神経外科手術	中尾 直之	脳神経外科
機能的脳神経外科	淡蒼球 DBS 我々の手術法	小倉 光博 他	脳神経外科
Ann of Thorac and Cardiovascular Surgery	Fibulin-5 protein is reduced in the lung of patients with spontaneous pneumothorax who are under 25 years old.	平井慶充 他	心臓血管外科・ 呼吸器外科・乳 腺外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Pulmonary and Respiratory Medicine	Serum KL-6 levels in patients with lung cancer.	吉増達也 他	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
Ann of Thorac and Cardiovascular Surgery	Surgical treatment for metachronous second primary lung cancer after radical resection of primary lung cancer.	石垣貴彦 他	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
癌と化学療法	非小細胞肺癌の術後補助化学療法におけるPredictive Factorとしてのp53とRas Mutationの意義.	平井慶充 他	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
Journal of Cardiology	Impact of diabetes mellitus on outcomes in Japanese patients undergoing coronary artery bypass grafting.	岡村吉隆 他	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
Cancer	Ipsilateral breast tumor recurrence (IBTR) in patients with operable breast cancer who undergo breast-conserving treatment after receiving neoadjuvant chemotherapy: risk factors of IBTR and validation of the MD Anderson prognostic index.	尾浦正二 他	心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
J Bone Miner Metab; Epub	A genome-wide sib-pair linkage analysis of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine.	Yoshida M 他	整形外科
the ROAD Study. Bone. ;Epub	Risk factors for falls in a longitudinal population-based cohort study of Japanese men and women	Yoshida M 他	整形外科
a longitudinal population-based cohort study. Arthritis Rheum	Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women	Yoshida M 他	整形外科
日本整形外科スポーツ医学会雑誌	スポーツ復帰のための腰椎手術療法 内視鏡下椎間板摘出術(MED法)後の超早期リハビリテーション・プログラム	吉田 宗人 他	整形外科
Journal of Spine Research,	MEDを用いて治療したガス含有腰椎椎間板ヘルニアの3例	吉田 宗人 他	整形外科
日本整形外科学会雑誌	脊椎内視鏡下手術の現状 2011年1月～12月手術施行状況調査・インシデント報告集計結果	吉田 宗人 他	整形外科
日本脳性麻痺の外科研究会誌	脳性麻痺の股関節脱臼に対するBarr変法プラス両股関節周囲筋解離術・ハムストリング延長術の一不成功例	下藺英史 他	整形外科
Eur Spine J	Electrophysiological diagnosis using sensory nerve action potential for the intraforaminal and extraforaminal L5 nerve root entrapment.	Minamide A, 他	整形外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本整形外科学会雑誌	脊椎手術における手術部位感染の対策 皮膚縫合は感染率を上昇させるか	宮本 選 他	整形外科
日本整形外科学会雑誌	大脳刺激・筋誘発電位を用いた頸椎後 方手術後上肢麻痺の検討	宮本 選 他	整形外科
J Spinal Disord Tech	Efficacy of novel minimally invasive surgery using spinal microendoscope for treating extraforaminal stenosis at the lumbosacral junction	Yamada H 他	整形外科
A 15-Year Follow-up Study in a Community-based Cohort- Journal of Orthopaedic Science Volume17 No. 5	Radiographic Features and Risk for Curve Progression of de novo Degenerative Lumbar Scoliosis in the Elderly.	Yamada H 他	整形外科
Journal of Spine Research Vol.3 No3	L 5 - S 1 腰椎椎間孔部狭窄症の診断 サポートツールの開発	山田 宏 他	整形外科
Journal of Spine Research Vol.3 No3	腰椎外側病変における脊椎内視鏡手術 の峡部・椎間関節温存効果	山田 宏 他	整形外科
日整会誌86(2)	腰部脊柱管狭窄症の疫学	山田 宏 他	整形外科
Journal of Spine Research 3	第40回日本脊椎脊髄病学会優秀論文-化 膿性脊椎炎による起因菌同定は治療経 過に影響を及ぼしたか？	橋爪 洋 他	整形外科
日関病誌31(3)	腰椎変性側彎 発症メカニズムと治療 腰椎変性側彎を伴う腰部脊柱管狭窄症 に対する内視鏡下除圧術の臨床成績	南出晃人 他	整形外科
中部整災誌 55 (春季学 会)	高齢者の腰椎変性すべり症に対する内 視鏡下除圧術の有用性の検討	南出晃人 他	整形外科
中部整災誌55(秋季学 会)	脊柱靭帯骨化症の病態と手術 脊柱靭帯 骨化症に対する低侵襲手術の応用	南出晃人 他	整形外科
日本臨床スポーツ医学会 誌20(3)	成長期腰部スポーツ障害の治療と予防 若年スポーツ選手の腰部椎体終板障害 に対する脊椎内視鏡下手術	南出晃人 他	整形外科
日整会誌 86(3)	腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後 方除圧術の長期臨床成績 変性すべり 症の有無による比較検討	南出晃人 他	整形外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Spine Res 3(3)	変性すべりに伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績の検討	南出晃人 他	整形外科
J Spine Res 3(3)	頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎除圧術の中期臨床成績の検討	南出晃人 他	整形外科
retrospective, multi-institutional study Journal of Orthopaedic Science Volume 17, Issue 6	Perioperative complications of anterior cervical decompression with fusion in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament	Nakagawa Y, 他	整形外科
日整会誌86(3)	頸椎神経根症に対する後方内視鏡下椎間孔拡大術の治療成績と問題点、その対策について	中川幸洋 他	整形外科
Journal of Spine Research 3(3)	脊椎後方内視鏡手術と合併症 -とくに術後血腫とその対策について-	中川幸洋	整形外科
整形・災害外科55(8)	腰椎椎間孔部狭窄症診断における浅腓骨神経感覚神経活動電位 (SPN-SNAP) の有用性と注意点	岩崎博 他	整形外科
日本脊髄障害医学会雑誌 25巻1号	椎外側病変に対する電気生理学的機能診断	岩崎博 他	整形外科
整スポ会誌 32(3)	内視鏡下椎間板摘出術 (MED法) 後の超早期リハビリテーション・プログラム	吉田宗人 他	整形外科
Preliminary results. Global Spine J 2(2)	Microendoscopic decompression surgery for lumbar spinal canal stenosis via the paramedian approach	Yoshida M 他	整形外科
JOSKAS37(4)	MPFL再建におけるCannulated TJスクリューを用いた靭帯固定の試み	宮本 選 他	整形外科
日本人工関節学会誌42	8の字締結法を用いたDall骨片固定法	宮崎展行 他	整形外科
臨床整形外科47(7)	手術手技 私のくふう 超音波骨メスを用いて後方進入前方骨化巣切除術を行った胸椎分節型後縦靭帯骨化症の1例	中川幸洋 他	整形外科
The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord	Cellular mechanism of dopaminergic inhibitory descending pathway activated by electrical stimulation of A11 in the hypothalamus.	Miyazaki N, 他	整形外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本人工関節学会誌	高齢者（80歳以上）人工膝置換術の術後ADL調査	宮崎展行 他	整形外科
The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord 33	In vivo patch-clamp analysis of reactive oxygen species actions on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons	Miyazaki N, 他	整形外科
脊髄機能診断学	脊髄前角におけるニコチン性アセチルコリン受容体によるシナプス伝達制御機構. 脊髄機能診断学	峰巨	整形外科
脊髄機能診断学	大骨頭を用いた人工股関節再置換術の脱臼予防効果	峰巨	整形外科
J Bone Miner Metab	Consuming breakfast and exercising longer during high school increases bone mineral density in young adult men.	Yoshida M 他	整形外科
the Wakayama Spine Study. Osteoarthritis Cartilage	Prevalence of symptomatic lumbar spinal stenosis and its association with physical performance in a population-based cohort in Japan	Yamada H, 他	整形外科
The Wakayama Spine Study. SPINE	Prevalence of Cervical Cord Compression and its Association with Physical Performance in a Population-based Cohort in Japan	Hashizume H 他	整形外科
臨床整形外科	腰部脊柱管狭窄症患者に見られる深部感覚障害についての臨床的研究 ～簡易型振動覚測定を用いて～	橋爪 洋 他	整形外科
日足外会誌33	観血的手術を行ったcurly toeの1例	谷口泰徳 他	整形外科
中部整災誌55	高齢者curly toeに合併した外反母趾の1例	谷口泰徳 他	整形外科
中部整災誌55	母趾IP関節に発生した粘液嚢腫の1例	谷口泰徳 他	整形外科
Mol Pain. 2012 Apr 26	Distinct degree of radiculopathy at different levels of peripheral nerve injury	Yoshida M 他	整形外科
整形外科63巻4号	腰椎除圧術後に発症したcrowned dens syndromeの1例	岩崎博 他	整形外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 55	後頭骨—頸椎固定術後に嚙下障害を来たした一例	岩崎博 他	整形外科
臨床整形外科47(12)	脊椎内視鏡手術でサルベージが可能であった難治性腰痛とみなされていたMOBの一例	山田宏 他	整形外科
中部整災誌55	ガングリオンによる肩甲上神経麻痺の1例	谷口泰徳 他	整形外科
中部整災誌55	副腱を伴った尺側手根伸筋腱脱臼の1例	谷口泰徳 他	整形外科
中部整災誌55	滑膜性腫瘍による手根管症候群の1例	谷口泰徳 他	整形外科
中部整災誌55	Cushing症候群に合併したKienböck病の1例	谷口泰徳 他	整形外科
Cancer Res 72(11): 2844-2854, 2012	HSP DNAJB8 controls tumor-initiating ability in renal cancer stem-like cells	Nishizawa S, 他	泌尿器科
泌尿器外科 25(6): 1343-1347, 2012	膀胱癌UPDATE(No. 2) 当院における尿路上皮癌に対するGC療法の治療成績	児玉芳季 他	泌尿器科
泌尿器外科 25(10): 1999-2008, 2012	前立腺肥大症患者の下部尿路症状およびQOLに対するナフトピジルの有効性に関する検討 キング健康調査票(KHQ)による多施設実態調査	藤井令央奈 他	泌尿器科
泌尿紀要 59(1):11-15, 2013	腎嚢胞から発生した集合管癌の1例	南方 良仁 他	泌尿器科
Ocul Surf. 2013 Jan	Wakayama symposium: modulation of wound healing response in the corneal stroma by osteopontin and tenascin-C.	Saika S	眼科
Lab Invest. 2013 Feb	Impaired cornea wound healing in a tenascin C-deficient mouse model.	Sumioka T	眼科
Ocul Surf. 2012 Oct	Wakayama symposium: current concepts of ocular surface cell biology.	Saika S	眼科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Case Rep Ophthalmol Med. 2012	A patient with corneal epithelial disorder that developed after administration of a latanoprost generic, but not a brand-name drug, eye drop.	Takada Y	眼科
耳鼻咽喉科臨床	小児急性中耳炎に対するTosufloxacin 細粒15%の有効性の検討	山中 昇	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	反復・遷延例を含む小児急性中耳炎に対する経口カルバペネム系抗菌薬TBM-PI の有効性評価	山中 昇	耳鼻咽喉科
PLoS One	PspA Family Distribution , Antimicrobial Resistance and Serotype of Streptococcus pneumoniae Isolated from Upper Respiratory Tract Infections in Japan.	保富宗城	耳鼻咽喉科
PLoS One	Evaluation of a rapid immunochromatographic ODK-0901 test for detection of pneumococcal antigen in middle ear fluids and nasopharyngeal secretions.	保富宗城	耳鼻咽喉科
World J Surg	A novel definition of extrathyroidal invasion for patients with papillary thyroid carcinoma for predicting prognosis.	保富宗城	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	コブレーション扁桃摘出術の有効性と医療経済的検討	杉田 玄	耳鼻咽喉科
World J Gastroenterol	Three benefits of microcatheters for retrograde transvenous obliteration of gastric varices	Sonomura T, 他	放射線科
World J Radiol	Usefulness of the Guglielmi detachable coil for embolization of a systemic venous collateral after Fontan operation: a case report.	Sonomura T, 他	放射線科
Cancer and Clinical Oncology	SPECT-based radiation therapy and transcatheter arterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma sized 14 cm or greater.	Shirai S, 他	放射線科
World J Radiol	Evaluation of vascular puncture needles with specific modifications for enhanced ultrasound visibility: In vitro study.	Kawai N, 他	放射線科
J Vasc Interv Radiol	Basic study of a mixture of n-butyl cyanoacrylate, ethanol, and lipiodol as a new embolic material	Kawai N, 他	放射線科
Br J Radiol	Erdheim-Chester disease associated with intramedullary spinal cord lesion.	Takeuchi T, 他	放射線科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Case Rep Gastroenterol	Dual microcatheter retrograde transvenous obliteration of gastric varices: coil embolization as a substitute for balloon occlusion.	Minamiguchi H, 他	放射線科
World J Radiol	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices via the intercostal vein.	Minamiguchi H, 他	放射線科
Jpn J Radiol	Percutaneous fluoroscopically guided n-butyl cyanoacrylate (NBCA) injection for iatrogenic femoral arterial pseudoaneurysm under temporary balloon occlusion of arterial blood flow.	Nakai M, 他	放射線科
J Vasc Interv Radiol	Endovascular stenting and stent-graft repair of a hemorrhagic superior mesenteric artery pseudoaneurysm and dissection associated with pancreaticoduodenectomy.	Nakai M, 他	放射線科
Hepatol Res	Comparison of blood dynamics of anticancer drugs (cisplatin, mitomycin C, epirubicin) in treatment groups of hepatic arterial infusion, hepatic arterial infusion with lipiodol and transcatheter arterial chemoembolization with lipiodol plus gelatin sponge particles in a swine model.	Ikoma A, 他	放射線科
World J Radiol	Inferior pancreaticoduodenal artery aneurysm treated with coil packing and stent placement.	Ikoma A, 他	放射線科
Jpn J Radiol	Optimal contrast material concentration for distinguishing among carotid artery lumen, carotid stent, and neck in cone-beam computed tomography during carotid angiography: basic and clinical studies.	Kawai N, 他	放射線科
World J Gastroenterol	Preoperative microcoil embolization of the common hepatic artery for pancreatic body cancer.	Kawai N, 他	放射線科
World J Radiol	Safety of bronchial arterial embolization with n-butyl cyanoacrylate in a swine model.	Kawai N, 他	放射線科
Journal of Radiation Research	Eradicative brachytherapy with hyaluronate gel injection into pararectal space in treatment of bulky vaginal stump recurrence of uterine cancer.	Kishi K, 他	放射線科
J Radiat Res	Percutaneous interstitial brachytherapy for adrenal metastasis: technical report.	Kishi K, 他	放射線科
World J Radiol	Novel eradicated high-dose rate brachytherapy for internal mammary lymph node metastasis from breast cancer.	Kishi K, 他	放射線科
J Comput Assist Tomogr	Differentiation of pancreatic serous cystadenoma from endocrine tumor and intraductal papillary mucinous neoplasm based on washout pattern on multiphase CT.	Kawai N, 他	放射線科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cardiovasc Intervent Radiol	Prospective evaluation of transcatheter arterial chemoembolization (TACE) with multiple anti-cancer drugs (epirubicin, cisplatin, mitomycin C, 5-fluorouracil) compared with TACE with epirubicin for treatment of hepatocellular carcinoma.	Kawai N, 他	放射線科
World J Radiol	Aortic ostia of the bronchial arteries and tracheal bifurcation: MDCT analysis.	Kawai N, 他	放射線科
PLoS One	Conserved Acidic Amino Acid Residues in a Second RNA Recognition Motif Regulate Assembly and Function of TDP-43.	Ito H, 他	神経内科
J Biol Chem	Motor Neuron-specific Disruption of Proteasomes, but Not Autophagy, Replicates Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Ito H, 他	神経内科
Rinsho Shinkeigaku	A patient of myofibrillar myopathy associated with muscle cramp and distal muscle involvement.	Ito H, 他	神経内科
Sci Transl Med	Drug screening for ALS using patient-specific induced pluripotent stem cells.	Ito H, 他	神経内科
Am J Hum Genet	The TRK-fused gene is mutated in hereditary motor and sensory neuropathy with proximal dominant involvement.	Ito H, 他	神経内科
Neuropathol Appl Neurobiol	Regionally different immunoreactivity for Smurf2 and pSmad2/3 in TDP-43-positive inclusions of amyotrophic lateral sclerosis.	Ito H, 他	神経内科
Neurodegener Dis	Activation of Transforming Growth Factor- β /Smad Signaling Reduces Aggregate Formation of Mislocalized TAR DNA-Binding Protein-43.	Ito H, 他	神経内科
Neuroreport	Derlin-1-immunopositive inclusions in patients with Alzheimer's disease.	Ito H, 他	神経内科
Clin Neuropathol	Nuclear factor κ B expression in patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis and hereditary amyotrophic lateral sclerosis with optineurin mutations.	Ito H, 他	神経内科
Eur J Radiol	"Hot cross bun" sign in multiple system atrophy with predominant cerebellar ataxia: a comparison between proton density-weighted imaging and T2-weighted imaging.	Ito H, 他	神経内科
Exp Neurol	Cilostazol, a phosphodiesterase inhibitor, prevents no-reflow and hemorrhage in mice with focal cerebral ischemia.	Ito H, 他	神経内科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Neurobiol Aging	Selective white matter abnormalities in a novel rat model of vascular dementia.	Ito H, 他	神経内科
Neurobiol Aging	Environmental enrichment ameliorated high-fat diet-induced A β deposition and memory deficit in APP transgenic mice.	Ito H, 他	神経内科
Intern Med	Superficial siderosis due to pseudomeningocele.	Murata KY, 他	神経内科
Neurocase	Avoidance of swallowing saliva: A symptom related to aberrant basal ganglia functions?	Miwa H, 他	神経内科
Eur J Neurol	Combination of transcranial sonography, olfactory testing, and MIBG myocardial scintigraphy as a diagnostic indicator for Parkinson's disease.	Izawa MO, 他	神経内科
Amyotroph Lateral Scler	An increase in ALS incidence on the Kii Peninsula, 1960-2009: a possible link to change in drinking water source.	Kihira T, 他	神経内科
Amyotroph Lateral Scler	Ultrasonography of the diaphragm in amyotrophic lateral sclerosis: Clinical significance in assessment of respiratory functions.	Hiwatani Y, 他	神経内科
Intern Med	Drug-induced camptocormia: a lesson regarding vascular Parkinsonism.	Nakayama Y, 他	神経内科
Brain Nerve	Neuromyelitis optica following thymectomy with severe spinal cord atrophy after frequent relapses for 30 years.	Hironishi M, 他	神経内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis 16(1):11-53, 2012	Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2009).	Nakai S	腎臓内科
International Journal of Nephrology and Renovascular Disease 5:81-89, 2012	The management of hyperphosphatemia by lanthanum carbonate in chronic kidney disease patients.	Shigematsu T	腎臓内科
Clinical and Experimental Nephrology 16:672-678, 2012	Current therapeutic strategies for acute kidney injury.	Negi S	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 27:1050-1054, 2012	Combined therapy with lanthanum carbonate and calcium carbonate for hyperphosphatemia decreases serum FGF-23 level independently of calcium and PTH(COLC Study).	Shigematsu T	腎臓内科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Clin Exp Nephrol 16(1):130-135, 2012	Influence of renin-angiotensin system on serum parathyroid hormone levels in uremic patients.	Koiwa F	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 27:1580-1584, 2012	A case-control study of calciphylaxis in Japanese end-stage renal disease patients.	Hayashi M	腎臓内科
analysis of the Japan Renal Biopsy Registry(J-RBR). Clin Exp Nephrol 2012	Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese	Hitoshi Yokoyama	腎臓内科
Clin Exp Nephrol 16:672-678, 2012	Current therapeutic strategies for acute kidney injury.	Shigeo Negi	腎臓内科
日本透析医会雑誌27:80-85, 2012	平成23年台風12号豪雨災害における透析医療-被災地からの報告と今後の災害への課題-	龍田浩一	腎臓内科
新薬と臨床61:24-43, 2012	Ca濃度2.75mEq/L透析剤K-FT1の臨床的検討—多施設共同第Ⅲ相比較臨床試験—	重松隆	腎臓内科
透析会誌 45:1-47, 2012	わが国の慢性透析療法の現況(2010年12月31日現在)	重松隆	腎臓内科
日本腎臓学会誌 54:603-609, 2012	関節リウマチ:腎障害を伴う場合も含めて	美馬亨	腎臓内科
透析会誌45(9):853-862, 2012	ビタミンE固定化ダイアライザによるESA投与量に関する多施設前向き研究	望月隆弘	腎臓内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis: 17(3):247-288, 2013	Clinical Practice Guideline for the Management of Chronic Kidney Disease-Mineral and Bone Disorder.	Masafumi Fukagawa	腎臓内科
Clinical Journal of the American Society of Nephrology June 8(6):969-978, 2013	Randomized Controlled Open-Label Trial of Vitamin E-Bonded Polysulfone Dialyzer and Erythropoiesis-Stimulating Agent Response.	Tsutomu Sanaka,	腎臓内科
Clinical Nephrology 80:47-52, 2013	Tonsillectomy with steroid pulse therapy has more effect on the relapse rate than steroid pulse monotherapy in IgA nephropathy patients.	Masaki Ohya	腎臓内科

計

12

累計

154

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岡村 吉隆
管理担当者氏名	事務局長 大西 範昭

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		経理課 医事課 医療情報部 薬剤部 各診療部門	平成22年4月以前のカルテ、X線写真等は、中央病歴室において集中管理。平成22年5月より、電子カルテが稼働しており、電子媒体により保存されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	経理課	
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	経理課 薬剤部	
項規第一第一号に掲げる一体第一項各号の及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進室	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 岡村 吉隆
閲覧担当者氏名	総務課長 新谷 幹雄、医事課長 木村 真也、医療安全推進室長 上田 恵子
閲覧の求めに応じる場所	医事課

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.2 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	14,839人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,972人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,469人	
	D: 初診の患者の数	29,481人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容： 安全で質の高い医療を提供するため、病院長の指揮のもとに、医療安全推進委員及びゼネラルリスクマネージャーならびにリスクマネージャーを中心に、職員総参加の下で、全職員一丸となって、附属病院における医療の安全管理対策に、積極的に取り組む。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容： 平成12年12月1日から「医療安全推進の新制度」をスタートさせて以降、医療安全推進委員会を月1回開催している。 ア 医療の安全管理のための基本方針の策定に関すること。 イ 医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。 ウ 医療安全推進のための職員研修等に関すること。 エ 職員総参加の医療安全推進に関すること。 オ その他、医療の安全確保と医療の質の向上に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 13 回
<p>・ 研修の主な内容： 平成24年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DVD研修「エラーを防ぐコミュニケーション」（5月）2日間・8回上映 ・ 外部講師による講演「診療関連死の警察届出の判断一例えば、転倒・転落死が生じた場合、どのように判断していますか？」（6月） ・ 「せん妄の診断・予防・治療」（9月）2日間 ・ 「加温加湿の重要性」「レスピフローの使用方法～低流量システム・高流量システムについて～」「RSTラウンド時に対応した事例」（7月）2日間 ・ 医薬品安全管理者共催「医療用麻薬の適正管理について」（10月）2日間 ・ 「医療安全管理マニュアルー安全対策ー肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症（深部静脈血栓塞栓症）の予防ガイドラインより薬剤について」「『抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡ガイドライン』について」（11月）2日間 ・ 外部講師による講演「医療コンフリクト・マネジメント～総論」（12月） ・ DVD研修「生死を分けるコミュニケーション技術」（1月）2日間・8回上映 ・ 「治療手段としてのリハビリテーションとリスク回避」（2月）2日間 ・ ドクターヘリ安全研修会「安全確保とヒューマンエラー」（2月） ・ 「安全推進は教育心から」「安全文化をつなぐ」（3月） ・ eラーニング「処方オーダーについて」（2月～3月） ・ eラーニング「医療安全概論」（2月～3月） <p>その他（研修会受講回数には加算しない学習会）〈平成24年度開催実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師対象「フォーリーカテーテル」「静脈血栓塞栓症予防について」（6月） ・ 看護師対象「危険薬について（初級編）」（5月） ・ 看護師対象「インスリンについて」（6月） ・ 看護師対象「注射薬について」（7月） ・ 看護師対象「輸液の取り扱い」（1月） ・ 看護師対象「血管外漏出」（2月） ・ 研修医対象エコーガイド下CVC穿刺講習会「超音波ガイド下中心静脈穿刺の理論と手技」（7月） ・ 研修医対象技能講習会「輪状甲状間膜穿刺・切開」（6月） ・ 研修医対象技能講習会「胸腔ドレーン」（8月） ・ 研修医対象技能講習会「腰椎穿刺」（11月） 	

(様式第13-2)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進規程等に基づいて、院内報告制度を定め、積極的な報告の推進に努めている。レポートの迅速かつ適切な分析等に努めるとともに、医療安全推進部内で、週1回定例事例検討会を行い、医療安全推進委員会、リスクマネージャー会議を通じて、事例の共有と改善策の周知徹底を図っている。 特にアクシデント事例は、医療安全推進委員会で分析と安全管理に係る改善策等について検討協議を行うとともに、医療事故調査委員会での審議を必要とするものについては、随時、同委員会で審議している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (8 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任(4)名 兼任(10)名 ・ 活動の主な内容： ア 医療安全推進部の業務に関する企画立案及び評価 イ 医療安全に関する研修その他職員の意識向上に関する指導 ウ インシデントレポート及びアクシデントレポートの受理及び分析評価 エ 医療安全推進委員会及び医療事故調査委員会の運営に必要な事務 オ 診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導 カ 医療安全推進委員会で決定された改善策の実施状況、現状との整合性等についての検証に関する業務 キ その他医療の安全推進に必要な業務全般	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 1 院内感染対策に関する基本的な考え方 2 院内感染対策のための組織に関する基本事項 3 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 1 感染症の予防に関すること 2 感染症予防対策の部門間調整に関すること 3 感染症に関連する検査報告、経過、原因の追跡調査及び整理分析に関すること 4 感染症予防対策実施の教育、計画、指導及び勧告に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 「感染対策の基本」 「抗菌薬使用状況と薬剤感受性率について、MRSA対策について」 「感染性廃棄物の取扱いについて」 「感染対策マニュアル全面改訂説明会」 「カテーテル関連感染の予防と治療」 「感染制御と抗菌薬の結びつき」 「和歌山県のエイズの現状と対策について、最新のエイズ動向と治療について」 「手洗い講習会」 「2012年度院内インフルエンザ講習会」 「血液培養検査について～細菌検査結果の見方～」 「当院の結核対策について」 「臨床における口腔ケアについて」 「新しい手術時手洗い ウォーターレス法について」 「針刺し切創等血液暴露 (DVD研修)」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無) ICTが院内ラウンドを実施し、院内各部署の感染管理状況の把握と現場への個別指導を行い、感染対策マネジャーは、ICTと協力して部署内の感染対策に当たる。 また、細菌検査室からの細菌分離情報は、ICTに報告され、検討のうえ、感染予防対策委員会に報告するとともに病院内各部署に周知する。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ サーベイランスの実施 (針刺し・切創等血液暴露、耐性菌、医療器具関連感染、手術部位感染) ・ 感染対策マニュアルの整備 ・ 院内巡回時のマニュアル順守状況確認 ・ 薬剤耐性菌感染症判定と治療確認、血流感染症調査 ・ ICTwebの活用 ・ 各部署への情報共有 (各病棟の細菌検出状況レポート・無菌材料検出菌報告の配布、infection control newsの発行) 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医療安全推進室と連携して取り組んでいる 1) 平成24年10月29日、31日 : 「医療用麻薬の適正管理について」 講師：和歌山県福祉保健部健康局薬務課麻薬管理担当者 2) 平成24年11月21日、26日 : 「肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症の予防ガイドラインより薬剤について」 講師：医療安全推進室長（薬剤師） 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドラインについて」 講師：消化器・内分泌・小児外科講師（医師） 2) 平成25年2月1日～3月31日 : eラーニング「処方オーダーについて」（医療安全推進室） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 無) ・ 業務の主な内容： 業務手順チェックリストを確認し、改善が必要と思われる業務については当該部署と相談し、適宜改善策を検討している。 また、手順書についても適宜見直しを行っている。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 医薬品・医療機器安全情報については、製薬会社MRからの情報提供の他、インターネットを利用した情報収集を積極的に行い、入手した情報については、D I ニュース等を定期的に発行し、周知を図っている。 ② 定期的な情報以外に緊急を要するものについては、随時、情報提供を行う。 ③ 情報提供は文書配布及び電子カルテシステムのポータルサイトへの掲載を行っている。 ④ 緊急かつ重要な情報は、院内メールを活用し、医師をはじめとする医療スタッフに周知徹底を図る。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 医療安全推進室と連携して取り組んでいる 平成24年7月3日、4日 ： 「加温加湿の重要性」 「レスピフローの使用法 ～低流量システム・高流量システムについて～」 「RSTラウンド時に対応した事例」	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 (有 ・ 無)	
・ 保守点検の主な内容： 人工心肺、人工呼吸器、電気メス、除細動器、シリンジポンプ類などの精度及び電 気的安全点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を 目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容： 「臨床工学技士だより」を広報として各部署に配布している。	